



信州やまなみ国スポに向けて
長野剣連強化だより
<行こう。それぞれの頂へ。>

発行日:9月28日 第14号
発行:(一財)長野県剣道連盟
強化委員会 広報担当

【小学生】

小学生強化指定選手達は、「戮力協心(りくりよくきょうしん)」をスローガンに掲げ、全員の心をひとつにして、全日本都道府県大会での上位進出を目標に、夏季に数多くの強化練習や遠征に取り組んでまいりました。遠征では、他県選抜チームとの練習試合を通じて経験値を上げ、それと同時に選手間の絆を深めながら、強化練習や試合に全力で挑戦する姿が印象的でした。活動を通じてチームの一体感が育まれ、絆も深まっていきました。

小学生強化練習会(計7回)

全日本都道府県大会での上位進出を目指し、8月16日は12名で、8月26日、9月2日、9月9日、9月13日、9月16日は都道府県メンバー6名で5回、計6回にわたり、強化練習を行いました。平日の強化練習では、都道府県中学生メンバーとの合同稽古となり、小学生にとっては素晴らしいお手本がいる環境の中で自身の剣道を高めながら、各遠征での課題の克服や各自の長所を磨くことに重点をおいて取り組みました。9月13日は、昨年度選抜チーム(中学1年)、7月の県錬成大会優勝の慈恩館メンバー、本年の強化指定選手が駆け付け、都道府県大会に向けた壮行試合を行い、本番さながらの雰囲気で行うことができました。

8月29日には、県立武道館剣道場で行われた、信州やまなみ国スポに向けた少年男女の強化練習会に強化指定選手12名で合同参加させていただき、筑波大学・有田祐二先生による講習を受けることができました。試合で勝つ以前に、剣道の基本を身につけることの大切さを知り、選手達が必至に学ぼうという姿勢と、元気に練習に臨む姿勢に、選手の成長を感じ取ることができました。



第14回富士山杯争奪少年少女剣道大会

8月22日、23日の2日間にわたり静岡県御殿場市で行われた表記大会に都道府県メンバー6名で参加し、計14の他県選抜チームと錬成会、翌日の大会に出場し、とても貴重な試合経験を積むことができました。大会では、決勝トーナメント初戦で惜しくも負けてしまいましたが、各選手の成長が著しい中でも、課題や長所も明確となり、今後の強化に向け、充実した遠征となりました。

徐々に実力が上がって来ていることが伺え、都道府県大会に向けて良い方向に進んでいることを実感することが出来ました。



令和8年度 王充杯(錬成会)

9月5日、群馬県太田市で行われた錬成会に都道府県メンバー6名で参加し、14県の選抜チームを含む計24チームによる総当たりの錬成会が行われました。

都道府県大会2週間前となる真剣勝負が数多く行われ、各県の選抜チームとの試合は緊張感のある試合となりました。各選手、課題を克服するために日々取り組んでいる中、改善がみられる等、徐々に実力が上がって来ていることが伺え、都道府県大会に向けて良い方向に進んでいることを実感することが出来ました。



第21回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

9月20日「第21回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」に出場しました。

最初の予選リーグに臨んだ結果は、長野県 1-3 山梨県、長野県 0-4 広島県 とリーグ戦2敗の成績となり、予選突破には至りませんでした。試合後には全員が悔し涙を流し、勝利を目指し、多くの強化練習や遠征に全力で臨みこれまで積み重ねてきた努力と、長野県代表選手としての誇りが感じられました。今回の活動を通じて、選手たちは自身の技術の向上だけでなく、仲間とともに挑戦することの意義や、剣道を通じた心の成長を実感する機会となりました。



今後さらなる技術向上と経験の蓄積を目指し、強化練習を継続してまいります。引き続き、子どもたちの挑戦を温かく見守り、ご支援いただけますようお願い申し上げます。

【中学生】

第21回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

日 時：令和8年9月20日（日） 会 場：おおきにアリーナ舞洲

都道府県対抗少年剣道優勝大会に出場しました。今年は入賞を目指し、強化練習や遠征を重ねてきました。練習を重ねるごとに、チームワークが良くなり、自分のポジションの役割を考えて試合展開をすることができるようになってきました。

予選リーグでは、和歌山県・愛媛県と対戦をしました。和歌山戦では、先鋒の1本勝ちを大切に後ろへとつなぎましたが、本数差で敗れました。愛媛戦では、攻め勝ったところを勝負する姿が多くみられ2-0で勝利しました。1勝1敗で予選2位となり、決勝トーナメントへは上がることができませんでした。しかし、自分から攻めて相手を崩すことや、チームで試合をつなぐことなど、今まで強化で大切にしていたことができていた試合だったと感じます。今後も、全国で勝ち上がることを目指し、強化を続けていきます。たくさんの応援をありがとうございました！



【少年男女】

7月11日（土）12日（日）大阪遠征 会場：四天王寺大学

近畿大会前ということで、大阪府のベスト8の高校の錬成会に参加させていただきました。強豪校の攻めの強さや速さを体感する中で、試合を重ねていくにしたがい、粘り強く戦うことができるようになりました。



8月10日（月）11（火）12日（水）国スポ錬成会 会場：京都市武道センター・武徳殿

既に北信越国スポのオーダーは決定していたため、他県の国スポチームを相手にチームとしてどう勝つのか、ポジション毎の役割を意識して試合を実施することができました。



8月18日（火）～20日（木）強化合宿 会場：ことぶきアリーナ剣道場

東良美先生のご指導を賜り、剣道の基礎基本を徹底して練習しました。特に、つば競り合いを戦う意識を強く持ち、信大剣道部との練習試合などに臨むことができ、本番前にチームとして良い緊張感の中で稽古を積むことができました。

また、夜のミーティングでは、東先生自らの経験をふまえ、選手に対してこれからの剣道との向き合い方や代表選手として大切なことについてお話をいただきました。



《8月23日（日）北信越国民スポーツ大会 会場：ことぶきアリーナ》

男子は、試合の内容は悪くはなかったものの、相手に先取されてしまう試合が続きました。その悪い流れを最後まで変えることはできずに、チームとして勝ち点を得ることはできませんでした。

女子は、粘り強く戦う中で、大将の本村が試合を決めるという試合を3試合続けることができました。最終戦の石川県に勝てば本大会出場という中、先鋒戦は勝ちを収められたものの後続が続けず、惜しくも本大会出場を逃しました。

今年度選手として出場した1・2年生や補員の選手にはこの経験を活かして、来年度こそ自力での本大会出場を果たせるように、年間を通じて強化を続けていきたいです。

【少年男子】△長野Ⅰ（２）－（５）４福井○ △長野Ⅰ（Ⅰ）－（５）３新潟○

△長野Ⅰ（Ⅰ）－（５）３新潟○

【順位】第５位（０勝４敗） 本国スポ出場は富山

【少年女子】○長野Ⅰ（３）－（２）Ⅰ新潟△ ○長野Ⅰ（２）－（２）Ⅰ福井△

○長野Ⅰ（Ⅰ）－（５）３新潟○

【順位】第２位（３勝Ⅰ敗） 本国スポ出場は石川



8月29日（土）第Ⅰ回 国スポ少年男女強化練習会 会場：長野県立武道館剣道場

有田祐二先生を講師としてお招きし、やまなみ国スポ（少年男女）強化指定選手を中心とした強化練習会を今年度初めて行いました。

練習内容は、攻め合いや技の繋がりを中心にご指導をいただきました。高校生への指導ということもあり、強度や内容は昨年度からの指導に比べ、より高度な内容であったと感じました。参加した選手は、今回ご指導いただいた内容を所属校での活動の中でも取り組んでもらいたいです。

【成年女子】

令和8年度北信越国民スポーツ大会 剣道競技

日時：8月23日 会場：千曲市ことぶきアリーナ千曲

北信越国スポに出場しました。本戦出場を果たすべく、強い気持ちで大会に臨みましたが、惜しくも第3位という結果に終わりました。

優勝は石川県で、長野県は石川県と前年度優勝の新潟県には勝利を収めましたが、富山県と福井県に対して接戦をものにできなかったことがあと一歩及ばなかった大きな要因でした。

【成年女子リーグ戦】

北信越代表 Ⅰ

	1 (福井県)	2 (石川県)	3 (長野県)	4 (富山県)	5 (新潟県)	勝数	勝者数	総本数	順位
1 (福井県)	-	0 0	3 2	3 2	1 1	3	5	7	2
2 (石川県)	1 1	-	1 1	4 2	3 2	3	6	9	1
3 (長野県)	1 1	2 2	-	0 0	3 2	2	5	6	3
4 (富山県)	1 0	1 0	1 1	-	1 1	1	2	4	4
5 (新潟県)	1 1	1 2	0 0	1 1	-	1	2	3	5

本戦出場は逃しましたが、強化活動を始めてから成績を上げており、強化の成果は出てきています。やまなみ国スポに向かってチーム一丸となって練習に励みますので、皆様の応援をお願いいたします。

【成年男子】

第80回国民スポーツ大会の出場選手が決定しました

監督：塚田 裕

先鋒：宮下 昂大 次鋒：西澤 慎也 中堅：志村 圭一 副将：立見 顕久 大将：井上 盛夫

○10月17日（土）～19日（月）に青森県七戸町総合アリーナで開催される第80回国民スポーツ大会

「青の煌めきあおもり国スポ」に出場します。

東日本練成会

日時：令和8年9月5日（土）～6日（日）

秋田県秋田県立武道館で行われた「東日本練成会」へ国スポ選手が参加しました。練成会では10県の国スポチームが参加し、総当たりの練習試合を2日間で行いました。他県選手と試合を重ねる中で、国スポ本番に向け各選手新たな課題を発見でき有意義な練成会となりました。